

◎ 横須賀市スポーツ推進計画の平成 30 年度の点検・評価結果について

【スポーツ振興課】

1 計画の概要

国が平成 29 年（2017 年）3 月に第 2 期スポーツ基本法計画を策定したことを受けて、本市も全ての部局間を横断的に各部局で所管するスポーツ関連の施策、事業を網羅し、かつスポーツイベントにとらわれずに連携して推進していくために、平成 30 年 3 月に横須賀市スポーツ推進計画を策定しました。計画期間は平成 30 年度（2018 年度）から令和 7 年度（2025 年度）の 8 年間とし、令和 4 年（2022 年度）に見直すこととしており、スポーツによる地域の活性化、誰もが気軽にスポーツ、レクリエーションを楽しむことができる機会の充実、関係団体、企業と連携したスポーツ施策の推進、及び子どもの健やかな体の育成等に向けた取り組みを推進します。

2 進行管理

「スポーツ推進計画」を実効あるものとするために、計画に位置付けた施策が具体的に執行されているかどうかといったことについて、策定した目標指標に沿って、点検・評価による進行管理を行います。

点検・評価の結果については、毎年、市議会や関係審議会に報告するとともに、市民に公表し、集約された意見については、計画の進行や見直しなどに活かしていきます。策定した目標指標、点検・評価結果については、次のとおりです。

※各指標における目標値は、令和 3 年度（2021 年度）末の数値となります。

指標名	大規模スポーツ大会等の誘致・開催件数	目 標	スポーツによる地域の活性化を図ります。		
		施 策	<ul style="list-style-type: none"> ・ウインドサーフィンワールドカップの継続開催 ・三笠艦記念スポーツひのまるキッズ関東小学生柔道大会の継続開催 		
概 要	大規模スポーツ大会等の誘致・開催件数から本市におけるスポーツ参画人口の拡大を図ります。				
基準値	5 大会（平成 29 年度）	目標値	6 大会以上 ※過去の最高値の件数以上		
実 績	平成 30 年度 （2018 年度）	令和元年度 （2019 年度）	令和 2 年度 （2020 年度）	令和 3 年度 （2021 年度）	
	6 大会				
摘 要	6 大会…ANA ウインドサーフィンワールドカップ、全国女子中学生硬式野球選手権大会、全国歯科大学総合体育大会、関東地区信用金庫野球大会、全国移植者スポーツ大会、関東ゴールデンシニアバスケットボール大会				

指標名	成人のスポーツ実施率	目 標	誰もが気軽にスポーツ、レクリエーションを楽しむことができる機会の充実を図ります。		
		施 策	<ul style="list-style-type: none"> ・市民スポーツ教室 ・市民レクリエーション行事等 		
概 要	市民が週に1回以上スポーツを実施する割合から市民が日常的にスポーツに親しむ機会を増やします。				
基準値	48.4% (平成28年度週に1回以上スポーツや運動をしている人)	目標値	65% ※スポーツ基本計画での目標値(成人の週1回以上のスポーツ実施率が3人に2人(65%程度))		
実 績	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	
	—				
摘 要	4年に1回の調査のため、平成30年度は未調査 次回は令和2年度に調査予定				

指標名	市民スポーツ教室、スポーツフェスタ参加人数	目 標	誰もが気軽にスポーツ、レクリエーションを楽しむことができる機会の充実を図ります。		
		施 策	<ul style="list-style-type: none"> ・市民スポーツ教室 ・市民レクリエーション行事等 		
概 要	市民スポーツ教室及びスポーツフェスタ参加人数から市民の誰もが日常的にスポーツに親しみ、又はスポーツを支える活動に参画する機会を増やします。				
基準値	8,714人(平成23年度)	目標値	9,000人 ※平成24～平成28年度の最高値の千人未満を切り上げ		
実 績	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	
	9,580人				
摘 要	<ul style="list-style-type: none"> ・市民スポーツ教室参加者数3,300人 ・スポーツフェスタ2018来場者数延5,570人 ・春季レクリエーション・スポーツフェスタ710人 				

指標名	全国大会以上の大会に出場する選手数（生徒は県、関東大会を含む）	目 標	国際大会等で活躍する横須賀育ちの代表選手の輩出を目指します。		
		施 策	・国県体育大会等選手派遣事業		
概 要	国際競技大会や全国大会に出場する選手に対し、報償金の交付や壮行会などを実施して選手の負担軽減とともに代表選手の意識の高揚を図り、市民に誇りと喜び、夢と感動を与え、スポーツへの関心を高めます。				
基準値	2,446 人（過去 5 年間の平均値）	目標値	2,500 人 ※平成 25～28 年度の最高値を切り上げ		
実 績	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	
	1,908 人				
摘 要	今後も引き続き全国大会等出場選手に対する支援を継続していく。				

指標名	体育会館の利用者数	目 標	スポーツの場を提供するため、スポーツ施設の整備と円滑な管理運営、学校体育施設等の開放を推進します。		
		施 策	・体育会館、屋外運動施設の管理委託		
概 要	体育会館の効率的な活用を図るため、運営維持管理業務を指定管理者に委託するとともに計画的な施設整備を行い、利用者の増加を図ります。				
基準値	842,346 人（平成 28 年度）	目標値	850,000 人 ※平成 24～28 年度の最高値を切り上げ		
実 績	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	
	812,034 人				
摘 要	平成 30 年度に改修工事を行い体育会館が閉鎖していた期間があったため、利用者数に影響があったと考えられる。 【閉鎖があった体育会館及び期間】 ・総合体育会館 第 1 競技場（平成 30 年 4 月 1 日～12 月 27 日） ・総合体育会館 温水プール（平成 30 年 10 月 9 日～12 月 28 日） ・北体育会館 温水プール（平成 31 年 1 月 8 日～1 月 22 日）				

指標名	運動公園の利用件数	目 標	スポーツの場を提供するため、スポーツ施設の整備と円滑な管理運営、学校体育施設等の開放を推進します。		
		施 策	・ 体育会館、屋外運動施設の管理委託		
概 要	スポーツ施設の運営方法を検討するとともに、計画的な施設整備を行う。				
基準値	97,155 件(平成 28 年度)	目標値	98,000 件 ※平成 24～28 年度の最高値の千人未満を切り上げ		
実 績	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	
	85,947 人				
摘 要	不入斗競技場の改修による閉鎖期間（平成 30 年 11 月 1 日～平成 31 年 3 月 20 日）および追浜軟式野球場の閉鎖（平成 30 年 8 月 10 日～令和元年 12 月末予定）により利用件数に影響があったと考えられる。				

指標名	「運動が好き・やや好き」と回答する本市児童生徒の割合	目 標	子どもの健やかな体を育成します。		
		施 策	学校における体育・健康に関する指導の充実		
概 要	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の質問紙調査の結果における、「運動が好き・やや好き」と回答した児童生徒の割合と、全国の平均値を比較することから、児童生徒の運動やスポーツに対する肯定的な意識の状況を測ります。（小学校 5 年生、中学校 2 年生）				
基準値	【小学校 5 年生男子】 93.9% 【小学校 5 年生女子】 87.6% 【中学校 2 年生男子】 89.9% 【中学校 2 年生女子】 76.0% (平成 28 年度)	目標値	【小学校 5 年生男子】 94.2% 【小学校 5 年生女子】 88.0% 【中学校 2 年生男子】 90.6% 【中学校 2 年生女子】 79.4% ※平成 26～28 年度の全国平均値の最高値を目標値として設定した		
実 績	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	
	小学校 5 年生男子 93.2% 小学校 5 年生女子 86.3% 中学校 2 年生男子 89.8% 中学校 2 年生女子 77.9%				
摘 要	体育的活動の充実と体育・保健体育科の授業改善に取り組み、児童生徒の運動に対する肯定的な捉えを涵養する。				

指標名	1週間の総運動時間が0分の児童生徒の割合	目 標	子どもの健やかな体を育成します。		
		施 策	学校における体育・健康に関する指導の充実		
概 要	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の質問紙調査の結果における、1週間の総運動時間が0分の本市児童生徒の割合から、児童生徒の運動習慣の状況を測ります。 (小学校5年生、中学校2年生)				
基準値	【小学校5年生男子】 3.0% 【小学校5年生女子】 5.4% 【中学校2年生男子】 5.9% 【中学校2年生女子】 14.9% (平成28年度)	目 標 値	【小学校5年生男子】 0.0% 【小学校5年生女子】 0.0% 【中学校2年生男子】 0.0% 【中学校2年生女子】 0.0%		
実 績	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	
	小学校5年生男子 3.4% 小学校5年生女子 6.3% 中学校2年生男子 5.2% 中学校2年生女子 14.1%				
摘 要	全国的に「運動する子とそうでない子の二極化」が課題となっているが、その傾向が顕著であり、改善されていない状況である。また、学んだことを授業以外や実生活に活かしていく実践力の育成を視点とした体育・保健体育科の授業改善に取り組んでいく。				

指標名	児童生徒の新体力テスト 結果の総合評価D・Eの 割合の合計		目 標	子どもの健やかな体を育成します。	
			施 策	学校における体育・健康に関する指導の充実	
概 要	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果における、新体力テスト結果の総合判定D・Eの本市児童生徒の割合と、全国の平均値を比較することから、体力下位層の子どもの状況を測ります。（小学校5年生、中学校2年生）				
基準値	【小学校5年生男子】 33.1% 【小学校5年生女子】 30.2% 【中学校2年生男子】 34.5% 【中学校2年生女子】 13.7% (平成28年度)	目標値	【小学校5年生男子】 29.5% 【小学校5年生女子】 23.6% 【中学校2年生男子】 28.7% 【中学校2年生女子】 12.8% *平成26～28年度の全国平均値の最低値を目標値として設定した。		
実 績	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	
	小学校5年生男子 29.2% 小学校5年生女子 25.0% 中学校2年生男子 27.0% 中学校2年生女子 12.7%				
摘 要	「運動する子とそうでない子の二極化」が影響しており、体育的活動の充実と運動に対する肯定的な捉えの涵養や実践力の育成を視点とした体育・保健体育科の授業改善に取り組んでいく。				

指標名	朝食を食べない日が多い・食べない児童生徒の割合の合計	目 標	子どもの健やかな体を育成します。		
		施 策	学校における食育の充実		
概 要	全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「朝食を食べない日が多い」・「食べない」と回答した児童生徒の割合の合計から、学校と家庭の連携による望ましい生活習慣の定着状況を測ります。（小学校5年生、中学校2年生）				
基準値	【小学校 5年生 男子】 3.2% 【小学校 5年生 女子】 3.3% 【中学校 2年生 男子】 7.3% 【中学校 2年生 女子】 4.8% （平成 28 年度）	目 標 値	【小学校 5年生 男子】 0.0% 【小学校 5年生 女子】 0.0% 【中学校 2年生 男子】 0.0% 【中学校 2年生 女子】 0.0%		
実 績	平成 30 年度 （2018 年度）	令和元年度 （2019 年度）	令和 2 年度 （2020 年度）	令和 3 年度 （2021 年度）	
	小学校5年生男子 3.2% 小学校5年生女子 3.5% 中学校2年生男子 6.7% 中学校2年生女子 5.7%				
摘 要	家庭だけの問題として捉えるのではなく、学校が主体となり、保護者啓発用資料等を活用して、家庭とともに取り組んでいく。				

指標名	1日の睡眠時間が6時間未満の児童生徒の割合	目 標	子どもの健やかな体を育成します。		
		施 策	望ましい生活習慣の確立に向けた支援		
概 要	全国体力・運動能力、運動習慣等調査における1日の睡眠時間が6時間未満と回答した児童生徒の割合から、学校と家庭の連携による望ましい生活習慣の定着状況を測ります。（小学校5年生、中学校2年生）				
基準値	【小学校 5年生 男子】 5.3% 【小学校 5年生 女子】 3.3% 【中学校 2年生 男子】 12.9% 【中学校 2年生 女子】 12.6% （平成28年度）	目 標 値	【小学校 5年生 男子】 0.0% 【小学校 5年生 女子】 0.0% 【中学校 2年生 男子】 0.0% 【中学校 2年生 女子】 0.0%		
実 績	平成30年度 （2018年度）	令和元年度 （2019年度）	令和2年度 （2020年度）	令和3年度 （2021年度）	
	小学校5年生男子 3.0% 小学校5年生女子 1.9% 中学校2年生男子 8.8% 中学校2年生女子 9.3%				
摘 要	基本的な生活習慣の確立は家庭で行うべきものとされがちだが、「学校が主体となって支援すべきもの」という意識に変えていきたい。				

指標名	児童生徒の体力合計点	目 標	子どもの健やかな体を育成します。		
		施 策	体力・運動能力、運動習慣等の実態把握と調査の活用		
概 要	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果における体力合計点の本市児童生徒の平均値と、全国平均値の比較から、子どもの体力の状況を測ります。（小学校5年生、中学校2年生）				
基準値	【小学校5年生男子】52.81点 【小学校5年生女子】54.02点 【中学校2年生男子】40.27点 【中学校2年生女子】48.20点 （平成28年度）	目標値	【小学校5年生男子】 53.93点 【小学校5年生女子】 55.54点 【中学校2年生男子】 42.00点 【中学校2年生女子】 49.41点 *平成26～28年度の全国平均値の最高値を目標値として設定した。		
実 績	平成30年度 （2018年度）	令和元年度 （2019年度）	令和2年度 （2020年度）	令和3年度 （2021年度）	
	小学校5年生男子 53.84点 小学校5年生女子 55.22点 中学校2年生男子 42.15点 中学校2年生女子 49.39点				
摘 要	体育的活動の充実と体育・保健体育科の授業改善に取り組み、学校教育全体を通じて計画的に行えるように推進していく。また、学校が主体となって家庭や地域と連携し、望ましい生活習慣の定着を図る。				